

令和7年度

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価の結果報告書  
(令和6年度事業対象)

美里町教育委員会

目 次

I	美里町教育委員会事務事業評価の基本方針	1～2
II	教育委員会の開催状況	3～5
III	点検・評価の結果	6
	<b>【学校教育点検・評価項目一覧表】</b>	7
1	地域学校保健委員会補助金事業	8
2	学校部活動補助金事業	9
3	全校体育補助事業	10
4	集団宿泊教室事業	11
5	芸術鑑賞補助金事業	12
6	特色ある教育推進事業	13
7	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）	14
8	中学校英語チャレンジ事業	15
9	物価高騰対策給食費補助事業	16
10	給食費補助事業	17
	<b>【社会教育点検・評価項目一覧表】</b>	18
1	人権教育推進協議会補助金事業	19
2	青少年育成町民会議補助金事業	20
3	放課後子ども教室事業	21
4	歴史探訪講座等の開催事業	22
5	美里町文化協会補助金事業	23
6	地域学校協働本部事業	24
	<b>【社会体育点検・評価項目一覧表】</b>	25
1	美里町ナイター陸上記録会	26
2	中学校野球美里大会	27
3	美里町スポーツレクリエーション（旧町民体育祭）	28
4	美里町駅伝競走大会	29
5	美里町新春霊台橋マラソン大会	30
6	宇城中学校新人駅伝大会	31
7	中学生ソフトテニス美里大会	32
8	中学生女子バレーボール美里大会	33
9	宇城地区高等学校野球美里大会	34

# I 美里町教育委員会事務事業評価の基本方針

## 1. 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに公表する。

このようなことから、本町教育委員会でも効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、外部評価委員会による教育委員会所管の事務事業の点検を行う。

## 2. 点検・評価に当たっての基本的な考え方

- (1) 成果を重視した行政運営を行うため、事後評価を基本とする。
- (2) 評価の客観性、透明性を確保するため外部評価を行う。
- (3) 評価の対象・方法は、毎年度見直しを行う。

## 3. 点検・評価の対象

- (1) 教育委員会の活動状況
  - ① 定例及び臨時教育委員会の会議状況
  - ② その他の活動状況
- (2) 教育委員会の所管する事務事業  
教育委員会が所管する事務事業について教育委員会事務局で協議し、教育委員会で選定する。

## 4. 点検・評価の手順

- (1) 教育委員及び教育委員会事務局による自己評価
- (2) 外部評価委員による評価
- (3) 報告書の作成
- (4) 教育委員会で報告書の作成
- (5) 議会への提出及び公表

## 5. 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の規定により有識者の知見の活用については、点検・評価（自己評価）の結果について、学識経験者を含む 5 名の外部評価委員に、対象事業についての意見をいただく。

外部評価委員名簿

井上正広	鳴瀬信介	隈部淳一
早津田直子	松本富美代	

## 6. 教育委員会としての今後の方向性

担当課自己評価に対する外部評価委員のご意見等を踏まえ、最終的に教育委員会として今後の方向性を下記5つの中から選択する。

拡 充	事業規模・内容をより拡大・充実し継続すべき事務事業
維 持	概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
縮 小	現在の方向性でよいが、事務規模については縮小方向で改善していくべき事務事業
改 善	現在の方向性から見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
完 了	完了した事務事業

(参考)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務職員等に委任された事務を含む）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 教育委員会議の開催状況

### 1 教育委員会議

美里町教育委員会会議は、毎月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、5名の教育委員（教育長1名を含む）が教育行政の基本方針や教育委員会規則等の制定又は改廃等、会議において議決する。

令和6年度の教育委員会議の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

期 日	場 所	議 決 事 項 等
令和6年 4月22日 (定例会)	中央庁舎 2階第3・4 会議室	<ul style="list-style-type: none"><li>・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について</li><li>・美里町立小中学校の主任等の任命について</li><li>・美里町立小中学校の共同実施事務主任の任命について</li><li>・美里町指定文化財の解除について</li><li>・堅志田城跡保存整備検討委員会設置規則の制定について</li></ul>
令和6年 5月28日 (定例会)	中央庁舎 2階大会議室	<ul style="list-style-type: none"><li>・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について</li><li>・美里町学校運営協議会委員の任命について</li><li>・美里町学校運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について</li><li>・美里町地域学校協働本部運営委員会委員の委嘱について</li><li>・美里町教育振興基本計画推進委員会委員の委嘱について</li></ul>
令和6年 6月27日 (定例会)	中央庁舎 2階第3・4 会議室	<ul style="list-style-type: none"><li>・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について</li></ul>
令和6年 7月23日 (定例会)	中央庁舎 2階第3・4 会議室	<ul style="list-style-type: none"><li>・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について</li></ul>
令和6年 8月22日 (定例会)	中央庁舎 2階第3・4 会議室	<ul style="list-style-type: none"><li>・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について</li><li>・令和7年度使用中学校教科用図書採択について</li><li>・美里町教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の決定について</li></ul>
令和6年 9月17日 (定例会)	中央庁舎 2階第3・4 会議室	<ul style="list-style-type: none"><li>・美里町物価高騰対策給食費補助金交付要綱の制定について</li></ul>
令和6年 10月17日 (定例会)	中央庁舎 2階第3・4 会議室	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年度美里町教育支援委員会にかかる就学答申について</li></ul>

令和6年 11月21日 (定例会)	中央庁舎 2階大会議室	議案提出なし
令和6年 12月18日 (定例会)	中央庁舎 2階第3・4 会議室	議案提出なし
令和7年 1月20日 (定例会)	中央庁舎 2階第3・4 会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・令和6年度美里町教育支援委員会にかかる就学答申について
令和7年 2月19日 (定例会)	中央庁舎 2階大会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町社会教育センター条例の一部を改正する条例の制定について
令和7年 2月22日 (臨時会)	中央庁舎 教育長室	・令和7年度教職員人事異動の内申について
令和7年 3月19日 (定例会)	中央庁舎 2階大会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町学校事務センター組織運営規定の制定について ・美里町教育委員会事務専決規定の一部を改正する訓令の制定について ・美里町立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

## 2 その他の開催状況

令和6年度における、その他主な開催は次のとおりです。

- ・美里町学力向上推進委員会
- ・美里町教育振興基本計画推進委員会
- ・美里町給食物資納入業者選定委員会
- ・美里町学校運営協議会
- ・美里町地域学校協働本部運営委員会
- ・美里町中学校部活動地域移行検討委員会
- ・美里町幼・保等、小・中連携協議会運営委員会
- ・美里町中学生・町執行部意見交換会
- ・美里町合併20周年記念事業「鼓童」交流公演
- ・スクールバス運行審議会
- ・美里町教育委員研修（球磨郡球磨村）
- ・熊本県市町村教育委員大会

- ・宇城市町教育委員全員研修会
- ・各小中学校訪問
- ・各小中学校入学式・卒業式
- ・各小学校運動会、各中学校体育大会、学習成果発表会
- ・二十歳の祝典（町成人式典）
- ・社会を明るくする運動美里町民の集い
- ・美里町文化祭
- ・町民体育祭（美里町スポーツレクリエーション）
- ・美里町ナイター陸上記録会
- ・中学校野球美里大会
- ・美里町駅伝競走大会
- ・美里町新春霊台橋マラソン大会
- ・宇城地区中学校新人駅伝競走大会
- ・中学生ソフトテニス美里大会
- ・中学生女子バレーボール美里大会
- ・宇城地区高等学校野球美里大会
- ・美里町さくら健康フェスタ
- 他各種大会行事

美里町教育委員会委員名簿

（令和7年4月1日現在）

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	宮 寄 幸 仁	令和4年12月23日～令和7年12月22日
教育長職務代理者	野 尻 絹 子	令和5年12月23日～令和9年12月22日
委 員	佐々木 聡	令和6年12月23日～令和10年12月22日
委 員	西 島 聡	令和3年12月23日～令和7年12月22日
委 員	霍 本 輝 子	令和4年12月23日～令和8年12月22日

### Ⅲ 事務事業外部評価点検・評価の結果

事務事業外部評価点検・評価項目

教育委員会としての今後の方向性

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額	教育委員会としての今後の方向性				
					拡充	維持	縮小	改善	完了
1	学校教育係	地域学校保健委員会補助金事業	学校、地域、家庭の連携のもと、子どもの健康な生活と教育の推進を図るため、中学校区で委員会を設置し活動する。	80,000円		3		1	
2	学校教育係	学校部活動補助金事業	生徒が協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。	693,000円		4			
3	学校教育係	全校体育補助事業	児童が適切な運動の経験をすることと、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、健康の保持増進と体力の向上を目的とする活動における経費の一部を補助する。	162,000円		3		1	
4	学校教育係	集団宿泊教室事業	児童生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。	333,804円		4			
5	学校教育係	芸術鑑賞補助金事業	演劇を鑑賞することによって、心身の調和のとれた発達と人間としての生き方について自覚を深める事業に補助する。	0円		4			
6	学校教育係	特色ある教育推進事業	町内小中学校における学校及び地域の特性を生かした特色ある教育活動へ積極的な取り組みを推進する学校に対して、その経費を予算の範囲内で補助する。	1,500,000円		4			
7	学校教育係	学校運営協議会事業 (コミュニティ・スクール)	保護者や地域の住民が、一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現を目指し、「地域とともにある学校づくり」をより一層推進する。	552,000円		4			
8	学校教育係	中学校英語チャレンジ事業	英検の補助事業は、中学生の英語に対する学習意欲や英語力の向上と、英検を受験する際の負担軽減を目的としています。	535,020円		4			
9	学校教育係	物価高騰対策給食費補助事業	近年の物価上昇の影響により、現在の給食水準を維持することが厳しい状況にある中で保護者の負担を増やすことなく、安全・安心な給食を提供する。	2,315,000円		4			
10	学校教育係	給食費補助事業	学校給食に要する経費の一部を補助することにより、各学校における保護者の負担の均一化を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を拡充するため。	11,071,416円		4			

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

1 事業名	地域学校保健委員会補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	”知”「確かな学力」の育成、”徳”「豊かな心」の育成、”体”「健やかな体」の育成を3本の柱として町内の全ての幼稚園・保育園、小学校、中学校、地域、家庭が連携し、子どもの健康な生活と教育の推進を図るため設置し活動する。		
活動内容	令和6年度より、従来各中学校区で活動されていた「すこやか委員会」及び「はぐくみ委員会」を補完し連携強化する目的で、美里町幼・保等、小、中学校連携協議会（仮称）として新たにスタートを切りました。 連携事業としましては、5月と3月に『美里町幼・保等、小、中学校連携協議会「運営協議会」』、6月及び9月に『美里町幼・保等、小、中学校連携協議会「行事調整委員会」』、8月に『美里町幼・保等、小、中学校連携協議会「全大会・分科会」』、9月に『美里町幼・保等、小、中学校連携カリキュラム検討会』を開催しました。また、11月には講師に高知学園大学の学長「山下文一」氏を招き『美里町幼・保等、小、中学校連携協議会「教育講演会」』を開催しております。		
(R6)予算額 (R6)決算額	予算額  80,000 円(補助額)	決算額 砥用地区 40,000 円 中央地区 40,000 円 計 80,000 円	
(R7)予算額	予算額  150,000 円		
担当課 自己評価	令和6年度に美里町幼・保等、小、中学校連携協議会（仮称）として発足しましたが、幼少期から義務教育課程まで、連携して切れ間のない子どもの学びへ繋げる活動を行っていきます。令和7年度から正式に「美里町幼・保等、小、中学校連携協議会」として更に活動を強化し、地域の子どもたちの総合的な成長に繋げていく。		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携した事により、今まで以上スムーズで良い活動になる様期待します。</li> <li>・美里町合併して20年が過ぎ、やっと地域にこだわらず、同じ活動になったこと、幼保、小、中連携しての新スタートはすばらしいです。今後の活動に期待します。</li> <li>・砥用地区、中央地区合同で、幼、保、等、小、中学校が連携して切れ間のない環境が出来る様に充実し継続してほしい。</li> <li>・児童生徒の健康な生活の維持向上に向け、学校、地域、家庭が連携して活動を補助金を交付することにより後押ししてもらいたい。</li> </ul>	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡充 ・ <b>維持</b> ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了
(教育委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなスタートに期待します。</li> <li>・町の連携は大切であり、共通の方向に一緒に進む事で学びへ繋げてほしいです。</li> <li>・幼保小中連携が組織として目に見える形で実施される事はとても良い事と思います。しかし、事業名が「地域学校保健委員会補助事業」のままでは、事業名と実施目的、内容が一致しません。学校保健委員会は、「学校における児童生徒の心身の健康課題を解決できるよう研究協議する」と文科省でも示されており、事業名の変更が必要と思います。</li> </ul> <p>※令和7年度より事業名を、「美里町幼・保等、小、中学校連携協議会」として活動する。</p>	
教育委員会としての今後の方向性	拡充 ・ <b>維持</b> ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

2 事業名	学校部活動補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	生徒が協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。		
活動内容	<p>・<b>砥用中(5部) 315,000円補助</b>(63,000円×5部)          野球部、サッカー部、剣道部、陸上部、バレー部、(柔道部(休部))</p> <p>・<b>中央中(6部) 378,000円補助</b>(63,000円×6部)          野球部、テニス部、サッカー部、バレー部、文化部、陸上部</p> <p>※補助金の主な支出内容は、大会参加費負担金及び道具類の購入          ※小学校はH30年度より社会体育へ移行</p>		
(R6)予算額 (R6)決算額	予算額  756,000 円(補助額)	決算額 砥用中 315,000 円(5部) 中央中 378,000 円(6部) 693,000 円	
(R7)予算額	予算額  693,000 円		
担当課 自己評価	<p>学校部活動には、多くの意義深い効果があり、生徒の成長に様々な面に効果が期待されます。特に、生徒の体力や技術向上はもちろん生徒が主体的に部活動に取り組むことで、人間関係の構築、自己肯定感や責任感、連帯感を養い、生徒の多様な学びの場、活躍の場として生徒にとって教育的意義を有していると考えます。</p>		
(外部評価委員の意見)			
<p>・少子化により、部員数も少なく、それに伴い部費も少なくなっているでしょう。補助は必要です。</p> <p>・部活動の経費の一部を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減することは評価できる。</p>			
外部評価委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>		
(教育委員の意見)			
<p>・保護者の経済的負担を軽減のために支援をお願いいたします。</p> <p>・部活動の教育的意義から生徒が活動する事への補助は必要だと思います。</p>			
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>		

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

3 事業名	全校体育補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	児童が適切な運動の経験をすることと、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、健康の保持増進と体力の向上を目的とする活動における経費の一部を補助する。		
活動内容	<p>・<b>砥用小 54,000円補助</b>                      5月～7月: ジョギングによる体力づくり、50m走、水泳、ゴール型ゲーム(フラッグフットボール、タグラグビー)                      8月～10月: 陸上練習、50m走、100m走、縦割り班で折り返しリレー など                      11月～12月: 持久走練習、ゴール型ゲーム(ミニバスケット)、ベースボール型ゲーム(Tボール)</p> <p>1月～3月: ジョギングによる体力づくり、ゴール型ゲーム(サッカー、ミニバスケット)、縦割り班での長縄(八の字跳び)</p> <p>・<b>励徳小 54,000円補助</b>                      5月: 体づくり運動、6月: 走の運動、9月: 体力づくり運動、走の運動、10月～12月: 走の運動、体づくり運動 ※毎週木曜日の業間に実施</p> <p>・<b>中央小 54,000円補助</b>                      体育的行事: 運動会、水泳大会、陸上記録会                      業間: 縦割り班スポーツ大会                      朝活動: 7分間ランニング、8秒間走 など</p>		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	162,000 円(補助額)	162,000 円	
(R7)予算額	予算額		
	162,000 円		
担当課自己評価	平成30年度に小学校部活動が社会体育へ移行したことにより、運動できる環境に格差が見られ、その差は大きくなる傾向にある。10歳前後に楽しく基礎的な運動を経験することで、生涯にわたって適切な運動の経験や習慣化を促すことにもなると考えられるため非常に重要な取り組みである。また、同じ目標に向かって仲間と取り組むことで協調性や社会性の育成にもつながります。		

(外部評価委員の意見)	
<p>・運動能力、体力の向上として良い事業。昨年の意見同様「運動は楽しい」と思える様、内容にも力を入れてほしい。</p> <p>・スクールバス登校・保護者の送迎と、子供達は、歩くことさえ少なくなっている。プレゴールデンエイジ時期(5歳から8歳頃)に色んな運動で体力を養うことはとても大切で、学年関係なく一緒に取り組むこと、身体を動かすことが楽しいと思ってくれる子供が増えることを期待します。</p> <p>・学校部活動の社会体育への移行に伴って生じた児童の運動(体格)格差を全校体育で補おうとする狙いは評価できるものであり、補助金の支出は妥当である。</p>	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
(教育委員の意見)	
<p>・児童の体力向上のため必要であると思います。(肥満傾向もあるため)</p> <p>・児童の体力向上や運動に親しむ態度の育成は必要。しかし、働き方改革等により、日課表に全校体育を位置づけることは難しくなっており、勤務時間前のランニングなども安全管理面から難しくなっている。そこで事業名を「小学校体力向上補助金事業」等、児童が休み時間等に運動する事に活用できる内容にしてはどうか。</p> <p>※令和7年度より、「小学校体力向上補助金」として児童の健康の保持増進と体力の向上を目的とする活動に補助する。</p>	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

4 事業名	集団宿泊教室事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	児童生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。		
活動内容	<p>・中学校1年生、小学校5年生を対象に「豊野少年自然の家」を利用し、集団生活を通して基本的な行動様式の定着を図るとともに、野外活動を通じて心身の鍛錬を行った。</p> <p>・小学校の主な活動(1泊2日) ウォークラリー、フォトスタンドづくり・アスレチック、ナイトゲームなど                  砥用小学校:豊野少年自然の家(69,350円)                  励徳小学校:豊野少年自然の家(21,900円)                  中央小学校:豊野少年自然の家(93,170円)</p> <p>・中学校の主な活動(1泊2日) レクリンピック、オリエンテーリング、交歓会、講話(ガイドランナー)など                  砥用中学校:豊野少年自然の家(55,552円)                  中央中学校:豊野少年自然の家(93,832円)</p>		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	小学校 224,000 円 中学校 384,000 円	小学校 184,420 円 中学校 149,384 円	
(R7)予算額	予算額 小学校 220,000 円 中学校 456,000 円		
担当課自己評価	<p>集団生活を通して自立心の育成や、集団でのルールやマナーの理解、協調性と社会性の向上が図れます。更に、家庭では経験しないような屋外活動を行うことで、挑戦心や達成感を体験できます。</p> <p>また、小小連携・中中連携により合同開催で活動が行われているため、町内の子どもたちの交流の機会が得られている。そして学校間で相互の親睦を深めることができる。</p>		
(外部評価委員の意見)			
<p>・各学校との交流にもなり良い事業と思う。</p> <p>・町内合同開催で、子供達の交流を深める機会としてとても良い事業だと思います。</p> <p>・子供達の親睦を深めるのによい事業だと思う。</p> <p>・児童生徒にとっても楽しみにしている行事だと思う。また、普段の学校生活で得られるものとは違った学びの場でもあると思う。</p>			
外部評価委員会としての今後の方向性	拡充 ・ <b>維持</b> ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了		
(教育委員の意見)			
<p>・自然体験や社会体験を通して社会性や協調性を育む事が出来るので良いと思います。</p> <p>・各学校との貴重な交流の場であり良い事業と思う。</p> <p>・校外における体験や交流活動はぜひ継続して行くことが必要。</p>			
教育委員会としての今後の方向性	拡充 ・ <b>維持</b> ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了		

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

5 事業名	芸術鑑賞補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	演劇を鑑賞することによって、心身の調和のとれた発達と人間としての生き方について自覚を深める事業に補助する。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度は、10月22日開催の美里町合併20周年企画『鼓童』の交流公演を町内小・中学校全生徒に鑑賞していただきました。</li> <li>・費用は合併20周年関連予算から支出しており決算額は0円となります。</li> </ul>		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	小学校 285,000 円 中学校 179,000 円	小学校 0 円 中学校 0 円	
(R7)予算額	予算額		
	小学校 258,000 円 中学校 163,000 円		
担当課 自己評価	小中学校で実施する演劇、音楽鑑賞等の文化や芸術に親しみ、触れる機会をすることで、想像力の向上や感受性の育成、文化理解の深化、自己表現の強化が期待できます。また、感性や教養を身に着けることで、「豊かな心」の育成につながっている。		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の生活では、なかなかできない芸術鑑賞は必要だと思います。学校別ではなく、3小学校合同・2中学校合同 もしくは、5校合同で鑑賞にてより良い劇団や楽団など、呼べるのではないのでしょうか？</li> <li>・演劇、演奏会等の鑑賞をする機会を確保するうえでも補助は妥当である。</li> </ul>	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
(教育委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちの心や想像力を育てる取り組みをお願いします。</li> <li>・町の環境として、芸術、文化に親しむ機会が少ないことから、年に1回でも全員が芸術・文化を体験できる機会は意義があると考えます。</li> </ul>	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

6 事業名	特色ある教育推進事業(教育寄附金充当も含む)	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	美里町立小中学校における学校及び地域の特性を活かした特色ある教育活動へ積極的な取り組みを推進する学校に対して、特色ある教育の推進を図ることを目的とする。		
活動内容	<p>・創意工夫を生かした学校教育の充実と児童生徒の体験的学習活動の充実を図るため、各学校長の裁量を発揮した特色ある教育推進を行った。</p> <p>・砥用小学校 2月:いのちの講話、年間:算数科授業の充実、年間:ICT機器環境整備、年間:稲作体験、年間:環境整備、年間:社会科教育の充実、11月:心の教育の充実、学習環境の整備</p> <p>・励徳小学校 9月:茶道教室、1月:ようこそ先輩、12月:れいとくの日、通年:屋内遊具購入、学校運営協議会</p> <p>・中央小学校 通年:学校環境整備等、10月・1月:こころの教育(読み聞かせ、芸術鑑賞、講話)、11月:いのちの学習、体験学習 など</p> <p>・砥用中学校 通年:校内花いっぱい推進・園芸活動、通年:輝きと潤いのある学校づくり、7月:校内ハローワーク、立志のつどい、10月:芸術鑑賞、合唱コンクール、学習成果発表会 など</p> <p>・中央中学校 2月:教職員・生徒スキルアップ、9月～12月:豊かな心をはぐくむための文化体験、5月～10月:学校や地域が連携を図るための事業、教育環境整備 など</p>		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	1,500,000 円 (うち、教育寄附金1,000,000円)	1,500,000 円 (うち、教育寄附金1,000,000円)	
(R7)予算額	予算額		
	1,500,000 円 (うち、教育寄附金1,000,000円)		
担当課自己評価	各学校それぞれの地域の特性を活かして、それぞれの学校に合った特色ある教育活動の推進に取り組まれている。多様な活動をとおして様々な学びを得ることで好奇心や探求心を育み学ぶ楽しさを経験することで意欲の向上も期待できる非常に重要な事業である。また、令和4年度からは寄附者の意向もあり、教育寄附金分を増額補正している。		

(外部評価委員の意見)	
<p>・学校教育の5事業・7事業と、社会教育の6事業と、目的・活動内容が重複するところがある。</p> <p>・子供達がいきいきと楽しみにする取り組みに期待したい。</p> <p>・各学校長の裁量により取り組める事業という事であり、今後も各学校の特色ある教育活動を推進してもらいたい。</p>	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
(教育委員の意見)	
<p>・美里の伝統文化・特産品等を学習に取り入れたりするのも良いと思います。</p> <p>・以前は各校10万円であった。本事業の予算額が各校30万円になっているが、30万円を各学校で特色ある活動として使用することについて学校も目的に合致した経費が悩むこともあるのではないかと。使用できる対象として、例えば図書等の充実等、本来予算化されているものを学校として更に充実させるために使用できるのかどうか等、使用の可否をもう少し明確にした方が良いのではないかと。</p>	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

7 事業名	学校運営協議会事業 (コミュニティ・スクール)	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	保護者や地域の住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現を目指す。本町では、令和3年度からコミュニティ・スクール(国版)を導入し、「地域とともにある学校づくり」をより一層推進する。		
活動内容	<p>○ 各学校単位に、学校運営協議会を設置している。第1回は中学校区の小・中学校合同で開催し、第2回～第4回は学校の特色や創意・工夫を生かせるように、各学校単位で開催し、第5回は町単位で開催した。特に5回は、学校運営協議会委員の資質向上のための研修の機会にしている。</p> <p>○ 学校運営協議会委員の構成は、次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民4名 ・保護者1名 ・地域学校協働活動推進員1名 ・教育委員会 若干名</li> <li>・学校関係者 若干名</li> </ul> <p>昼間の開催であるが、出席率は高い。学校運営協議会委員の意識の高さがうかがえる。</p> <p>○ 学校運営協議会の活動は、主に次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や地域の課題の共有や未来の担い手をどう育てるかを熟議する。</li> <li>・学校運営に関する評価、協働活動、PTA活動等の協議や実働をする。</li> <li>・3つの機能の行使する。</li> </ul> <p>◇校長が作成する学校運営に関する基本方針の承認する。</p> <p>◇学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べるができる。</p> <p>◇教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。</p> <p>各学校の課題に応じた「熟議」や子供たちを中心に据えた「熟議」ができるようになった。さらに、①町共通の目指す子供像②子供たちを中心に据えて③「熟議」を「実働」へを構築したい。</p>		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	690,000 円	552,000 円	
(R7)予算額	予算額		
	690,000 円		
担当課 自己評価	4年目になり、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)が目指すものが、学校や運営協議会委員に浸透してきた。熊本県教育委員会指定「モデル地域」を受け、宇城地区地域と学校の協働・連携の推進実践交流会を開催した。美里町への声として、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進のためのシステムと動き、子供たちを中心に据えた「熟議」等高い評価をいただいている。		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課の評価どおりようやく浸透し、引き続き継続してもらいたい。</li> <li>・町が中心となって、教職員・保護者と地域の皆さんがみんなで協力し合って、児童生徒を見守り育てる、良い取組みだと思います。これからぜひ続けていただきたい。</li> <li>・家族に児童生徒がいないと学校と関わることも減るので、たくさんの町民の方達にこの事業について知っていただきたい。</li> <li>・保護者、地域住民、学校の三者連携の下、「地域と共にある学校づくり」の取組みを継続してほしい。</li> </ul>	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
(教育委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育目標やビジョンを地域住民と共通出来ていてとても良いと思います。</li> <li>・地域との目標の共有や協働などを今後も充実させていく事は重要である。</li> </ul>	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

8 事業名	中学校英語チャレンジ事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	英検の補助事業は、中学生の英語に対する学習意欲や英語力の向上と、英検を受験する際の負担軽減を目的としています。		
活動内容	町内の中学校に在籍する生徒の保護者に対して、検定料全額(1回分)を補助の対象とし、3級以上は筆記試験のみ受験が可能です。		
(R6)予算額 (R6)決算額	予算額  823,000 円(補助額)	決算額 砥用中 228,070 円 中央中 306,950 円 535,020 円	
(R7)予算額	予算額  716,000 円		
担当課 自己評価	毎年度必ず1回は受験することができ、通い入れた学校での受験が可能のため受験率は95%を超えています。その中で、中学校3年間を通してひとつずつ受験する級を上げながらチャレンジする姿勢が見られています。自分の英語力がどれくらい付き、どれくらい伸びているのかを試す機会にもなっているので、学習意欲や学力の向上に繋がっていると考えられます。		

(外部評価委員の意見)

- ・今の時代必要な事業。維持はもちろん拡充を考えてほしい。
- ・生徒にとっても保護者にとっても、受験場所と受験料の補助はありがたい、受験率の高さに繋がっているのだと思う。これからも続けていただきたい。
- ・受験率も非常に高く、学習意欲や学力向上に役立っていると考ええる。

外部評価委員会としての今後の方向性

拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

(教育委員の意見)

- ・目標に挑戦する意欲の向上・英語力の向上を目的として実施出来ていて有難いです。
- ・国際化する社会で生きる力として、全ての生徒がチャレンジできる環境をつくることは必要だと思う。

教育委員会としての今後の方向性

拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

9 事業名	物価高騰対策給食費補助事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	近年の物価上昇の影響により、現在の給食水準を維持することが厳しい状況にある中で、保護者の負担を増やすことなく、安全・安心な給食を提供する。		
活動内容	対 象:美里町内小・中学校 補助内容:ひと月の基本給食費(小学校4,300円、中学校5,000円)を除く、食材費の物価高騰分の給食費を補助する。ただし、提供した給食数に、小学校に当たっては360円、中学校に当たっては670円を乗じた額に11か月を乗じた額を補助の上限とする。		
(R6)予算額 (R6)決算額	予算額  2,316,000 円	決算額 小学校 1,071,000 円 中学校 1,244,000 円 計 2,315,000 円	
(R7)予算額	予算額  2,116,510 円		
担当課 自己評価	給食費の高騰が続く限りは補助を継続し、保護者の経済的負担を増やすことなく、児童生徒への安定した給食の提供を維持する。		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物価高騰の中有難い補助ですが、出来れば拡充をお願いしたい。</li> <li>・あらゆる食品が高騰し、給食材料も高くなっているの理解できる。高騰が続く限り継続・・・とは、あいまいのような気がする。</li> <li>・美味しい給食を安心して子供達が食べれるのはありがたい。給食費を無償化することは可能か？</li> <li>・保護者の経済的負担権限の観点からより充実していただきたい。</li> </ul>	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
(教育委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美里の給食は美味しいと聞きます。(感謝)</li> <li>・子育て支援の一環として給食費の無償化は出来ますか？</li> <li>・物価高騰の状況が続いており、現在の給食の内容を維持していくためには必要と考える。</li> </ul>	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

10 事業名	給食費補助事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	学校給食に要する経費の一部を補助することにより、各学校における保護者の負担の均一化を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を拡充するため。		
活動内容	対象: 美里町内小・中学校 補助内容: ひと月の基本給食費(小学校4,300円、中学校5,000円)の半額を補助する。		
(R6)予算額 (R6)決算額	予算額  11,317,000 円	決算額 小学校 6,427,448 円 中学校 4,643,968 円 計 11,071,416 円	
(R7)予算額	予算額  10,080,400 円		
担当課 自己評価	児童生徒の心身の健全な発達や、給食を通じた食に関する理解や判断力の育成を図るためには、今後も保護者の経済的負担を軽減し、安定した給食の提供が必要である。		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課の評価どおり、給食の内容向上も共に拡充をお願いしたい。</li> <li>・こういう良いことを、町がもっとアピールして、町外から注目され、移住に繋がってくれたらよいですね。</li> <li>・現在は半額補助等ということだが、補助率を上げて行く方向で検討していただき、より一層の支援を目指してほしい。</li> </ul>	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
(教育委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助することで、子供を産み育てやすい町づくりを目指してほしいです。</li> <li>・無償化を実現している市や町もあることから、子育て支援として現状の半額補助は必要ではないか。</li> </ul>	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額	教育委員会としての今後の方向性				
					拡充	維持	縮小	改善	完了
1	社会教育係	美里町人権教育推進協議会補助金事業	町内における人権教育の推進及び啓発活動の浸透を図る取組を行う。	100,000円		4			
2	社会教育係	美里町青少年育成町民会議補助金事業	青少年問題の重要性に鑑み広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図る取組を行う。	256,000円		4			
3	社会教育係	美里町放課後子ども教室事業	授業日の放課後において、小学校の施設を使用し、子どもたちの安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動など、地域住民との交流活動等を通し機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する取組を行う。	320,097円		3		1	
4	社会教育係	歴史探訪講座等の開催事業	石橋をはじめとする多種多様な文化財を活用し、郷土の歴史・文化に対し理解と関心が高まるよう歴史探訪講座(生涯学習講座)や説明会・研修会を開催する。	20,000円		4			
5	社会教育係	美里町文化協会補助金事業	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与するため、美里町文化協会主催する事業を支援する。	420,000円		4			
6	社会教育係	地域学校協働本部事業	幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が連携・協働して様々な活動を行う。	2,998,288円		4			

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

1 事業名	人権教育推進協議会補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	町内における人権教育の推進及び啓発活動の浸透を図ることを目的とする。		
活動内容	<p>人権教育の研究と実践及び各種研修会の開催と各種研修会への参加。                  人権教育の研究と実践については、5月に人権教育推進協議会総会を行い、総会后、研修会として令和5年度に実施した「町民意識調査アンケート」の結果を分析し、現状と課題などを情報提供した。                  7月には、町人権教育推進協議会、町青少年育成町民会議、社会を明るくする運動町推進委員会による3団体合同で「社会を明るくする運動 美里町民の集い(美里町人権教育推進大会)」として、人権啓発・教育につながる講演会を開催し、133名の参加があった。                  人権教育の各種研究については、8月に第51回宇城地区人権教育研究大会、11月に第75回全国人権・同和教育研究大会(兼第52回熊本県人権教育研究大会)が開催され、職員が参画した。</p>		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	100,000 円	100,000 円	
(R7)予算額	予算額		
(R7)決算額	100,000 円		
担当課 自己評価	<p>令和5年度に実施した「町民意識調査アンケート」の結果を分析し、現状と課題が明確に示すことができ、講演会を含め、地域全体の人権意識を高めるため、今後の人権啓発・教育の方向性を共有することができた。</p>		
(外部評価委員の意見)			
<p>・町民の人権意識を高めるために、引き続き活動をお願いします。</p> <p>・人権課題は年々変化してきており、以前はさほど問題とならなかった言動が今日では人権侵害につながる場合もあり、継続した人権教育及び啓発活動は必要である。</p>			
外部評価委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>		
(教育委員の意見)			
<p>・町民の人権が尊重される住み良い町づくりのため継続してほしいです。</p> <p>・昨今、SNSを含め人権問題が増加している様に感じる。基本的人権の大切さを伝える教育は充実させる必要がある。</p>			
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>		

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

2 事業名	青少年育成町民会議補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	青少年問題の重要性に鑑み、広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とする。		
活動内容	補導部会と育成部会に分けて活動を行った。 補導部会は、毎月1回、青色回転灯を搭載した車による巡回補導を実施した。また、夏休み・春休み前の会議で取組を協議した。 育成部会は、さくら健康フェスタ実行委員会に協力するとともに、大会実施に向けた準備及び大会当日の運営参画した。		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	256,000 円	256,000 円	
(R7)予算額	予算額		
	256,000 円		
担当課 自己評価	青少年の健全育成のため、毎月1回の巡回補導を実施しており、今後も青少年を取り巻く環境を注視しながら、実情にあった事業を展開していく。 ただ、インターネットやSNS等に対する取組は出来ていない。		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットやSNS等に対する取組みを早急に力を入れてほしい。</li> <li>・今年はランタンフェスタが町祭りとして行われるので、以前実施されていた祭りの巡回補導が、必要になると思われる。</li> <li>・現状に合った取り組みであるか検討しても良いと思う。</li> <li>・次世代を担う青少年の健全な育成を図ることは重要であり、取り組みの継続は必要である。</li> </ul>	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
(教育委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年が次世代を担い成長出来る様に地域全体で支えていくため活動は必要だと思います。</li> <li>・町内の祭りに変わるランタンフェスタでの巡回指導が必要となる。</li> <li>・青少年を取り巻く状況は大きく変化している。小さな町で出来る事はそう多くないので、関係者間で情報を共有し、最も必要なものから取り組む等、取り組み内容、方法を再検討することも必要ではないか。</li> </ul>	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

3 事業名	放課後子ども教室事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	授業日の放課後において、小学校の施設等を使用し、子どもたちの安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動など、地域住民との交流活動等を通し機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
活動内容	町内小学校3校のうち、1校で実施した。 【砥用小学校】 ・参加登録(募集)7月12日～18日 ・開始時期 9月(2学期) ・内容 ①バスケットボール教室…毎週火曜日 ②わくわく算数教室(ときどき科学遊び)…毎週木曜日 ・参加人数 ①8月当初 3人 → 最終12人 ②8月当初 8人 → 最終22人		
(R6)予算額 (R6)決算額	予算額 消耗品費 50,000 円 報償費 424,000 円	決算額 消耗品費 49,097 円 報償費 271,000 円	
(R7)予算額	予算額 消耗品費 150,000 円 報償費 2,624,000 円		
担当課 自己評価	<p>本事業は、子どもたちの居場所づくりや子育てを地域住民の方々が主となり参画して行う地域教育を推進する取組のひとつと考える。</p> <p>ただ、4月中に小学校3校分のコーディネーターを確保しようとしたが、交渉が難航し、結果的に砥用小学校1校となるなど、依然として人材確保が困難な状況である。</p> <p>また、コロナ前に対応していたスクールバスの運行についても学校教育課において対応していただいたが、児童数の減少や通学状況が以前と違うこともあり、帰宅対応で学校教育課担当者に毎回調整を依頼したため、担当業務に影響が出ていた。</p> <p>参加人数について、当初計画から人数の変動が大きくなると対応に苦慮する場面もあるため、募集方法などで対応する必要がある。</p>		
(外部評価委員の意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状は維持が妥当と思われる。</li> <li>・学童事業・地域学校協働事業と事業目的が重なる部分がある。昨年度1校しか実施されなかったこと・担当業務・コーディネーター人材確保などと考えると、改善の必要があるのではないだろうか。</li> <li>・必要な事業であるか、又はより充実した事業にするべきか保護者送迎の可能性など含めて検討しても良いと思う。</li> <li>・放課後の居場所づくりの一つとして、また子どもたちの安心・安全な活動拠点の確保という観点から本事業の実施は重要と思われる。しかしながら、事業に携わる人材確保が困難という状況が続いており、コーディネーターの負担軽減等の何らかの対策が必要であると考えている。</li> </ul>			
外部評価委員会としての今後の方向性	拡充 ・ 維持 ・ 縮小 ・ <b>改善</b> ・ 完了		
(教育委員の意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心で豊かな放課後の居場所となり必要だと思えます。人材確保など困難な面も多いと思いますが…。</li> <li>・コーディネーターの人材確保があった中で当初少数の参加人数だったが、最終的に3倍の参加があり現状が大変だったのが見て取れる。維持・継続するためには、十分な準備が必要では？</li> <li>・少子化により、家へ帰っても遊ぶ相手がいない子どもの増加。また、経済的理由や送迎の問題で放課後に塾で学んだり、スポーツ活動が出来ない子供たちも多いため、可能な限り続けていく事が望ましいと考える。</li> </ul>			
教育委員会としての今後の方向性	拡充 ・ <b>維持</b> ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了		

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

4 事業名	歴史探訪講座等の開催事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	石橋をはじめとする多種多様な文化財を活用し、郷土の歴史・文化に対し理解と関心が高まる用歴史探訪講座(生涯学習講座)や説明会・研修会を開催する。		
活動内容	<p>受講生33名により、年3回の講座を開催した。受講生に幅広い視点から文化財について考えていただく狙いから、つぎのとおり講話を設けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 『佐俣阿蘇神社とその歴史』 船原 千廣 さん 21名</li> <li>・第2回 『史跡 堅志田城跡について』 水上 仁 係長 18名</li> <li>・第3回 『美里町の仏像』 有木 芳高さん 15名</li> </ul>		
(R6)予算額 (R6)決算額	<p>予算額</p> <p>報償費</p> <p>40,000 円</p>	<p>決算額</p> <p>報償費</p> <p>20,000 円</p>	
(R7)予算額	<p>予算額</p> <p>報償費</p> <p>40,000 円</p>		
担当課 自己評価	<p>当初計画では年4回としていたが、講師の確保や日程調整が難航したため、年3回開催し延べ54人の参加があった。受講生には町内の歴史・文化に対し、理解と関心を高めることができたが、町内の歴史・文化のみに焦点をあてて開催したため、町外の歴史・文化との関連についての深掘りは出来なかった。</p> <p>今後は、町の伝統文化の継承や文化財保護意識の向上を図るため、町内の歴史・文化財を中心に事業を継続していきたい。</p>		

(外部評価委員の意見)	
<p>・良い事業だが受講者が少人数と思える。受講者の拡大に努めてほしい。</p> <p>・町内の歴史や文化財について興味・関心を持ってもらう機会提供の場として本事業の継続は意義あるものだと思う。</p>	
外部評価委員会としての今後の方向性	<p>拡充 ・ 維持 ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了</p>
(教育委員の意見)	
<p>・町内の文化財への関心を高める為にも継続してほしいです。</p> <p>・大人になっても自身のふるさとを知り、愛着を持つことは大切であり、若い世代にも広げていきたい内容であると思う。</p>	
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡充 ・ 維持 ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了</p>

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

5 事業名	美里町文化協会補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与する。		
活動内容	<p>美里町文化協会の主催により、年1回の主催事業の実施と文化祭を開催した。主催事業については、7月に七夕コンサートとして劇団「きやあ」による肥後にわか公演とシンガーソングライター進藤久明さんによる音楽ライブを実施し、約355人の方々が来場され、協会の作品展示によるサークル展も同時開催した。</p> <p>文化祭については、11月3日の「発表の部」で、所属サークル等の44団体、のべ288人が出場し、書道パフォーマンス・日本舞踊・ダンス・ピアノ・詩吟など、計44種目を発表した。併せて、10月28日から「展示の部」も開催し、絵画・俳句・陶芸・竹細工など、しゅうちゅ学校・保育園・幼稚園を含む21団体、637点の作品を展示した。</p>		
(R6)予算額 (R6)決算額	予算額 420,000 円	決算額	420,000 円
(R7)予算額	予算額 380,000 円		
担当課 自己評価	<p>美里町文化協会への支援・連携により、当初の計画通り主催事業及び文化祭を実施することができた。主催事業については、合併20周年記念事業の関連事業として大きな予算を確保し、例年より大規模な事業を展開できた。</p> <p>近年は、サークル数及び会員数が減少傾向にあり、会員の高年齢化も進んでいるため、協会予算に応じた事業規模・内容を工夫しながら、また事業運営に関してはボランティア等も活用されているので、町としては、過度な支援にならないよう、適切かつ効果的な支援を継続していきたい。</p>		
<p>(外部評価委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課の評価どおり。</li> <li>・生活やサークルの発表の場は、目標ができ、それに向けて頑張ったり、成功した喜びなど生きる力になっていると思います。継続してもらいたい。</li> <li>・普段の文化活動の発表の場を確保するうえでも補助金の支出は妥当であり、関係者にとっては、文化祭等の開催は練習等の励みになっていると思う。</li> </ul>			
外部評価委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>		
<p>(教育委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中々少ない発表の場と思うので継続してほしいです。役員の方々も大変かと思いますが…。</li> <li>・文化祭には中学生のボランティアが協力し、世代間交流や若者の自己肯定感を醸成することにもつながる場となっているのは意義があると思う。</li> </ul>			
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>		

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

6 事業名	地域学校協働本部事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が連携・協働して様々な活動を行うことを目的とする。		
活動内容	<p>○コーディネート会議 推進員6名、教育委員会若干名、必要に応じて学校関係者を加えて、年8回、地域と学校をつなぐコーディネートの具体的方法・内容を検討した。</p> <p>○学校支援の会 宇城地区「地域と学校の協働・連携」推進実践交流会と兼ねて年1回開催した。</p> <p>○地域学校協働本部運営委員会 行政、学校、地域住民、地域学校協働活動推進員で構成し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進の方向性や評価を行うため、年2回開催した。</p> <p>○地域学校協働活動(144件) 学校や学校運営協議会から要請を受け、地域の人材を活用した授業 40件</p>		
(R6)予算額 (R6)決算額	<p>予算額 報酬、報償費、費用弁償 3,254,000 円</p>	<p>決算額 報酬、報償費、費用弁償 2,998,288 円</p>	
(R7)予算額	<p>予算額 報酬、報償費、費用弁償 3,293,000 円</p>		
担当課 自己評価	<p>令和6年度は、熊本県教育委員会より「モデル地域」の指定を受け、県下への実践発表が多く、推進員と協力して美里町のよさや魅力を発信することができた。地域学校協働活動の要請数は実績40回で多様な活動が展開できた。学校支援ボランティアの人材バンク登録は実数120人を数える。中学生のKABとの協賛「ふるさとCMづくり」は、地域貢献や地域創生につながる活動となっており、年々質の高い作品になっている。</p>		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容や成果により、維持及び拡充が妥当。</li> <li>・人材バンク登録数は年々増加してすばらしい。子供たちの地域愛がより一層深くなり、将来美里町に住み続けたい・帰ってきたいと思える子供になってほしい。</li> <li>・地域の人材を活用した授業など、地域住民の参加が増えるのは良いと思う。</li> <li>・学校支援ボランティアの人材バンク登録者数も多く、充実した活動が出来ていることが窺えられる。実践発表や「ふるさとCMづくり」等は美里町の魅力の発信の場となっており、今後の活動も期待できる。</li> </ul>	
外部評価委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>
(教育委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と学校がパートナーとして連携・協働し、実践発表も素晴らしいかったので継続してほしいです。</li> <li>・子供たちの自分の町をより詳しく知ってもらえる良い機会になる。</li> <li>・学校と地域が連携して子どもの教育を充実させる組織は必要で継続していくことが大切だと考える。</li> </ul>	
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額	教育委員会としての今後の方向性				
					拡充	維持	縮小	改善	完了
1	社会体育係	第33回 美里町ナイター陸上競技記録会 (委託料)	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養い、スポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるように挑戦することを目的に実施する。	202,729円					4
2	社会体育係	第39回中学校野球美里大会 (補助金)	中学生の健全な精神と身体の発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣の中学校との親睦を深めることを目的に実施する。	137,821円		4			
3	社会体育係	令和6年度美里スポーツクリエイション (旧町民体育祭) (美里町スポーツ協会予算)	広く町民にスポーツを普及し、健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施する。	472,816円		4			
4	社会体育係	第21回美里町駅伝競走大会 (美里町スポーツ協会予算)	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性ある町づくりに寄与し、併せて都市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施する。	150,000円		4			
5	社会体育係	第54回美里町新春霊台橋マラソン大会 (美里町スポーツ協会予算)	走ることは全ての運動の基礎であり、体づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまで全ての人に適切な運動である。新春にふさわしく家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施する。	341,396円				4	
6	社会体育係	第45回宇城中学校新人駅伝大会	中学生の健全な精神と体力増強をめざし、各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組まれている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレーニングの成果発揮の場として実施する。	102,506円		4			
7	社会体育係	第29回中学生ソフトテニス美里大会	技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、中学生の心身ともに健全な育成と相互の親睦を図ることを目的に実施する。	52,042円		4			
8	社会体育係	第53回 中学生女子バレーボール美里大会	宇城管内及び近隣の各市町の中学校バレーボール部の親睦、融和を深めるとともに、生徒の健全な育成を図ることを目的に実施する。	81,118円		4			
9	社会体育係	第43回宇城地区高等学校野球美里大会 (委託料)	高校生の健全な精神と体力を養成し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、地域社会への高校野球の正しい理解を得ることを目的に実施する。	247,457円		2		1	1

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

1 事業名	第33回美里町ナイター陸上記録会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	主催：美里町教育委員会・美里町スポーツ協会・美里町中央公民館		
	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養い、スポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるように挑戦することを目的に実施する。		
活動内容	<p>本大会を主管する「美里町陸上競技協会」に委託料を支出し、事業を運営している。 7月6日（土）に美里町総合運動公園グラウンドにおいて延べ39人の参加により開催した。</p> <p>※実施プログラム 小・中学生（男女） 100m・800m・1,000m・1,500m・3,000m・リレー 走り幅跳び・砲丸投げ・走り高跳び</p> <p>※参加費なし ※予算支出用途（会場使用料・消耗品費・仮設照明の設置手数料・食糧費）</p>		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	220,000 円	202,729 円	
(R7)予算額	予算額		
(R7)決算額	0 円		
担当課自己評価	令和5年度までの8月開催から、県中体連前の7月上旬に開催したが、参加者が増えることはなかった。このことから、30年以上続いた陸上記録会ではあったが令和6年度を最終年度とし、令和7年度以降は開催しないこととした。		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技の技術を身につける事業目的を、ほかの行事に追加したら良いと思う。</li> <li>・参加人数や近年の酷暑などを考えると、終了するのちやむを得ないと思う。</li> <li>・飲め39人の参加とあるが、複数競技に参加した小中学生もいると考えると参加実人数は低調であると言わざるを得ない。担当課の自己評価を支持する。</li> </ul>	
外部評価委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善</p> <p style="text-align: right;">(完)</p>
(教育委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催を確認する時期だと思います。</li> <li>・近年の酷暑で完全な実施は難しくなっていると思う。</li> </ul>	
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善</p> <p style="text-align: right;">(完)</p>

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

2 事業名	第39回中学校野球美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	主催：中学校野球美里大会実行委員会・美里町中央公民館 砥用中学校野球部育成会・中央中学校野球部講演会		
	中学生の健全な精神と身体の発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣の中学校との親睦を深めることを目的に実施する。		
活動内容	<p>「中学校野球美里大会実行委員会」に補助金を支出し、事業を運営している。大会初日の10月19日（土）が雨天中止となったため、・20日（日）に美里町総合運動公園グラウンド、美里町町営球技場において宇城管内のチームを対象に、中体連後の新人戦と位置付け5チームの参加で開催した。2日間の日程を1日で終了することができず、各ブロックを勝ち上がった2チームを両校優勝とした。</p> <p>※参加費8,000円/チーム                  ※参加費収入：32,000円（地元校である砥用中・中央中の合同チームは免除）                  ※予算支出用途（メダル・消耗品費）                  ※結果：優勝（三角中）（不知火中・宇土中合同チーム）両校優勝</p>		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	150,000 円	137,821 円	
(R7)予算額	予算額		
(R7)決算額	150,000 円		
担当課自己評価	中体連後、夏休みの練習の成果を試す有効な大会と思われる。しかし、町外の大会や各中学校の行事等が行われるため、日程調整に苦労し、予備日が設定できない状況にある。		

(外部評価委員の意見)	
<p>・少子化により、チーム数も年々減っていく傾向にある。合同チームで練習もままならずとも、試合経験は増やしてほしいので、現時点では継続してもらいたい。しかし、日程の調整や、参加チーム数の少なさによっては、継続不可も検討しなくてはならないと思う。</p> <p>・部員減少に伴う休部や合同チームの増加を踏まえ、実施要領の検討を行い継続してもらいたい。</p>	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡充 ・ <b>維持</b> ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了
(教育委員の意見)	
<p>・実施要領の検討を行い継続してほしいです。</p> <p>・参加校数も減少しているので、状況に合わせて実施していけば良いのではないか。</p>	
教育委員会としての今後の方向性	拡充 ・ <b>維持</b> ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

3 事業名	美里スポーツレクリエーション (旧町民体育祭)	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	主催：美里町教育委員会・美里町スポーツ協会・美里町中央公民館		
	広く町民にスポーツを普及し、健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施する。		
活動内容	<p>10月13日（日）に美里町砥用B&amp;G海洋センター体育館（ファミリーバドミントン・レク式体力チェックの体験イベント）、美里町総合運動公園グラウンド（スラックライン・ノルディックウォーキング・ロアツツ熊本による小学生を対象としたサッカー教室）、屋内ゲートボール場（モルック）を会場に開催した。</p> <p>※参加費なし ※参加者 124名 ※予算支出用途（用具代・派遣費用・消耗品費等）</p>		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	550,000 円	472,816 円	
(R7)予算額	予算額		
(R7)決算額	700,000 円		
担当課 自己評価	<p>イベント開催2年目を迎え、参加者の増加を見込んだが、3連休の中の日だったからか前年よりも参加者が少ない状況となった。来年度以降は開催時期、開催場所等の見直しも含め、スポーツ推進委員会を中心に参加者のニーズを捉え内容等も充実させて開催していきたい。</p>		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数や開催場所を精査しながら、今後事業目的に向け頑張ってもらいたい。</li> <li>・指導者やスタッフが参加者を待っている状態を多く見られ、寂しく感じた。関係者は大変だろうが、多く集まる・参加しやすい工夫をお願いしたい。</li> <li>・開催場所や内容を検討される事によって、町民が開催を楽しみに参加するイベントになるよう期待したい。</li> <li>・令和5年度から町民体育祭に代えて本事業に取り組まれており、2年目を迎えた事業ということである。参加者が124名と令和5年度より少なくなったのは残念だが、維持が妥当である。</li> </ul>	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡充 ・ <b>維持</b> ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了
(教育委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年スポーツレクリエーションの種類を変えてみるのも、心身のリフレッシュと健康増進・交流を目的として良いと思います。</li> <li>・内容的には、幅広い年代で取り組む事が出来るもののように思う。学校やPTAと連携するなど親子でスポーツを楽しむ機会としても充実させることが出来るのではないかな。</li> </ul>	
教育委員会としての今後の方向性	拡充 ・ <b>維持</b> ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

4 事業名	第21回美里町駅伝競走大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	主催：美里町教育委員会・美里町スポーツ協会・美里町中央公民館		
	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性ある町づくりに寄与し、併せて郡市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施する。		
活動内容	<p>本大会を主管する「美里町陸上競技協会」に委託料を支出し、事業を運営している。                  12月8日（日）町営球技場周辺を会場とする7区間17.1kmの周回コースにおいて、町スポーツ協会支部から12チームの参加により開催した。</p> <p>※参加費なし                  ※予算支出用途（区間賞メダル・アスリートビブス・消耗品費等）                  ※結果：優勝（中央支部） 準優勝（浜戸川A） 3位（東部支部）</p>		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	150,000 円	150,000 円	
(R7)予算額	予算額		
(R7)決算額	150,000 円		
担当課 自己評価	令和5年度から、7区間17.1km（令和4年度までは14区間27.2km）の周回コースで開催した。周回コースという事もあり、当日は町営球技場付近に多くの応援の方が見られた。今後も役員の適切な配置、近隣地域への周知徹底、看板設置個所の増設等を行い、安全面に十分配慮し、運営を行っていく必要があると考えている。		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手人数や区間減少により各支部参加のハードルは下がったが、まだ参加が厳しい現状がある。</li> <li>・周回コースになって、危険度も少なくなり、応援者も移動せずに何人も応援できるようになったことは、良いことだと思う。不参加支部の理由は、お世話役がいないのか、区間走る該当者がいないのかでしょう。別支部から応援参加OKなど・・・としたら、不参加チームも参加できるかもしれない。</li> <li>・町民体育祭や学校の運動会での支部対抗競技が減っているので、地域の連帯感も感じる少ないイベントだと思う。お世話される役員の方や、スタッフの方はご苦労が多いと思う。</li> <li>・令和5年度から区間数と距離を縮小しての周回コースでの実施ということで、いろいろと工夫を凝らして運営されている。維持が妥当であると思う。</li> </ul>	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡充 ・ <b>維持</b> ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了
(教育委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容等も工夫され健康維持を目標に開催も継続してほしいです。</li> <li>・状況に合わせて工夫改善されてきているので、維持が適切かと考える。</li> </ul>	
教育委員会としての今後の方向性	拡充 ・ <b>維持</b> ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

5 事業名	第54回美里町新春霊台橋マラソン大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	主催：美里町教育委員会・美里町スポーツ協会・美里町中央公民館 走ることは全ての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまで全ての人に適切な運動である。新春にふさわしく家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施する。		
活動内容	本大会を主管する「美里町陸上競技協会」に委託料を支出し、事業を運営している。 1月1日（水）に総合運動公園グラウンドをスタート・ゴールとするコース（9種目・男女年齢別）において町内外より220名（町内33名、町外187名）の参加により開催した。 ※参加費 高校生以上1,000円、小中学生500円、未就学児（無料） ※参加費収入：170,500円 ※予算支出用途（賞品・アスリートピブス・消耗品費等）		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	519,000 円	341,396 円	
(R7)予算額	予算額		
(R7)決算額	529,000 円		
担当課 自己評価	町内への帰省中の参加者や毎年楽しみにされている町外からの参加者が多数を占めており、町のPRには一定の効果があると思われる。年末から年始にかけての準備・大会となり、役員やスタッフ（町職員約40名）に負担もあるが、町外から美里町に帰省中の参加者には、元日におこなわれる大会を楽しみにされている参加者もある。昨年度参加者160名のアンケート結果によると、80%以上が美里町外の参加者で元日以外の開催については参加するという回答が約60%となっている。		

（外部評価委員の意見） ・過去数年の参加者の増はなく、事業目的に対し成果が少なく感じる。 ・何年も前から、関係者負担のため、元旦の実施改善の意見が出ているが、変更されていない。町外の参加者中、60%は元日以外でも参加するというアンケート結果で、元日以外なら参加したいという人もたくさんいるのでは？元日以外なら、キッチンカー・出店などもでき、活性化にもなると思う。 ・スタッフの方の負担を考えると元旦以外がよいのか？ ・町外の参加者が多いのは貴重であると思う。60%の回答が多いのか少ないのか判断しにくい。 ・令和4年度が228名、令和5年度が224名、令和6年度が220名の参加と実績としては安定しており十分であると思う。アンケートの結果を踏まえ、1月1日開催を変更する時期に来ているのではないだろうか。昨年も記したが、1月1日の実施は関係者の負担が大きすぎると考える。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ <b>改 善</b> ・ 完 了
（教育委員の意見） ・開催日の変更は毎年の課題でもあります。元旦は関係者の負担が大だと思います。 ・1月2日、3日開催でも構わないのでは？ ・問題は実施日であり、様々な課題はあるにしても一度実施日を変更し評価してみてもどうか。	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ <b>改 善</b> ・ 完 了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

6 事業名	第45回宇城中学校新人駅伝大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	主催：美里町教育委員会 中学生の健全な精神と体力増強をめざし、各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組まれている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレーニングの成果発揮の場として実施する。		
活動内容	2月22日（土）町営球技場スタート・ゴールの駅伝コース（男子・6区間・18.0km）（女子5区間・12.0km）において宇城管内の中学校より男女各16チームが参加して実施した。 ※参加費2,000円／チーム ※参加費収入：56,000円（地元校である砥用中・中央中は免除） ※予算支出用途（レプリカ・メダル・アスリートビブス・消耗品費等） ※結果：男子 優勝（松橋中A） 2位（鶴城中A） 3位（住吉中A） 女子 優勝（松橋中A） 2位（鶴城中A） 3位（住吉中A）		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	119,000 円	102,506 円	
(R7)予算額	予算額		
(R7)決算額	119,000 円		
担当課 自己評価	新チームになって冬季の練習の成果を試す良い機会と考える。 安全面については、3キロ折り返し地点付近にて、選手と自動車との接触事故がっており、今後の再発防止策として役員の増員、近隣地域への周知徹底、看板設置個所の増設等を行い、安全面に十分配慮し、運営を行っていく必要があると考えている。		

(外部評価委員の意見)	
・参加チームも多く、新チームのトレーニングの成果をみる有効な大会として機能していると思う。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
(教育委員の意見)	
・日々の練習の積み重ねを発揮できる大会ですので、維持してほしいです。 ・男女各16チームの参加という事で、町内中学生の成長の場となることを期待したい。	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

7 事業名	第29回中学生ソフトテニス美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	主催：美里町教育委員会		
	技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、中学生の心身ともに健全な育成と相互の親睦を図ることを目的に実施する。		
活動内容	<p>5月3日（金・祝日）にカントリーパークテニスコートにおいて中体連前の練習の成果の確認の大会として県内各地区の中学校から、男女各12チームの参加により開催した。</p> <p>※参加費2,000円／チーム（地元校である中央中は免除）          ※参加費収入：45,000円（中央中と合同チームの三角中は1,000円徴収）          ※予算支出用途（入賞品・消耗品費等）          ※結果： 男子 優勝（中央中） 準優勝（鶴城中A）                    女子 優勝（中央中） 準優勝（松橋中A）</p>		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	63,000 円	52,042 円	
(R7)予算額	予算額		
(R7)決算額	63,000 円		
担当課 自己評価	中体連に向けて練習の成果を試す有効な大会と思われる。県内の強豪校が参加することで町内の中学校のレベルアップにも有効な大会と思われる。		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇城圏域を越えて強豪校の参加チームもあるということで、町内の中学校のレベルアップに寄与する大会であると思う。</li> </ul>	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
(教育委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベルアップにも有効な大会と思われる為継続してほしいです。</li> <li>・目標を持って取り組んでいる中学生の良い経験の場になっているのはいないか。</li> </ul>	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

8 事業名	第53回中学生女子バレーボール美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	主催：美里町教育委員会		
	宇城管内及び近隣の各市町の中学校バレーボール部の親睦、融和を深めるとともに、生徒の健全な育成を図ることを目的に実施する。		
活動内容	<p>6月1日（土）に砥用中学校体育館において中体連前の練習成果の確認の大会として宇城管内及び上益城郡内から、8チームの参加により開催した。</p> <p>※参加費2,000円／チーム                  ※参加費収入：14,000円（地元校である砥用中・中央中の合同チームは免除）                  ※予算支出用途（入賞賞品・審判謝金・消耗品費等）                  ※結果：優勝（砥用中・中央中の合同チーム） 準優勝（小川中）</p>		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	134,000 円	81,118 円	
(R7)予算額	予算額		
(R7)決算額	134,000 円		
担当課 自己評価	中体連に向けての練習の成果を試す有効な大会と思われる。開催時期が体育大会等の行事もあり開催時期の決定に苦慮している。		

(外部評価委員の意見)	
・中学生にとっては中体連に向けての練習の成果を試す有意義な大会であるであると思う。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
(教育委員の意見)	
・中体連に向けての成果を試す有効な大会だと思えます。	
・町内では生徒数の減少で、試合形式の練習もままならないと思われる。体験の場として維持することが適切かと考える。	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和6年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

9 事業名	第43回宇城地区高等学校野球美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	主催：宇城地区高等学校野球美里大会実行委員会・熊本県高等学校野球連盟		
	高校生の健全な精神と体力を養成し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、地域社会への高校野球の正しい理解を得ることを目的に実施する。		
活動内容	<p>「宇城地区高等学校野球美里大会実行委員会」に委託料を支出し、事業を運営している。6月1日・2日（土・日）の2日間、美里町総合運動公園グラウンドにおいて、夏の選手権大会熊本県予選に向けた練習の成果の確認の大会として、宇城地区及び隣接の高校（合同チーム含む）3チームの参加により開催した。</p> <p>※参加費10,000円／チーム                  ※参加費収入：40,000円                  （参加校が4チームに満たない場合、宇城地区高等学校野球連盟より支出する旨、規定）                  ※予算支出用途（メダル・審判謝金・消耗品費等）                  ※結果：優勝（宇土高等学校）                  準優勝（御船・矢部・甲佐・湧心館・松橋・八代農業合同チーム）</p>		
(R6)予算額	予算額	決算額	
(R6)決算額	337,000 円	247,457 円	
(R7)予算額	予算額		
(R7)決算額	337,000 円		
担当課 自己評価	夏の選手権大会熊本県予選に向けて練習の成果を試す有効な大会と思われる。しかしながら、ここ数年は参加チーム数が増えることなく、3チームの参加（うち1チームは合同チーム）であることや、部員不足による参加チームの減少も考えられるため、今後について検討を行う必要があると考える。		

(外部評価委員の意見)	
<p>・担当課の評価どおり今後検討が必要。</p> <p>・3チームの参加では、主催者も参加チームもスタッフも寂しく、やる気・楽しさが欠けるのではないかと思われる。選手の中で美里出身の生徒は何人いるのでしょうか？検討すべきだと思う。</p> <p>・有意義な大会ではあるが故に実施要領を工夫しながら継続してほしい。部員不足のため、1校でチームが組めない高等学校で野球を楽しんでいる高校生のためにも維持が妥当だと考える。</p>	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡充 ・ <b>維持</b> ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了
(教育委員の意見)	
<p>・参加チームがいなくなれば検討が必要だと思います。せつかくの高野連主催でもあるし…。</p> <p>・歴史ある大会だと聞いてはいるが、そろそろ潮時ではないのか？</p> <p>・人数を少なくとも意欲を持って取り組んでいる。高校生を応援したいが、3チームでは練習試合と変わらない。町の事業もスクラップ&amp;ビルドが必要であり、現状としては終了することが妥当かと考える。</p> <p>※高野連及び参加校と大会の必要性等を協議し、次年度以降の大会の在り方を検討する。</p>	
教育委員会としての今後の方向性	拡充 ・ <b>維持</b> ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了